

2012-13年度RIテーマ



入間ロータリークラブ Weekly Report

2012-2013 RI会長：田中 作次
RI第2570地区ガバナー：鈴木 秀憲
会長：吉永 章子 幹事：齋藤 栄作
例会日：木曜日 12：30～13：30
例会場：丸広百貨店入間店6F バンケット・ホール
Tel.04-2963-1111



会報委員長：宅見 允
当番：大野 賢次
事務所：〒358-0023 入間市扇台3-3-7 ハイツ斎竹101号
Tel.04-2964-1700 Fax.04-2965-5788
Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp

第 9号 2725回例会 2012年 9月 6日(木)

9月新世代月間テーマ・各ロータリアンは青少年の模範

鈴木秀憲ガバナー公式訪問例会開催



吉永年度ガバナー訪問2012年9/6日 於武蔵クラブ

ビジター・ゲスト

- 第2570地区ガバナー 吹上ロータリークラブ 鈴木 秀憲 様
- 第3グループガバナー補佐 平岡 達也 様
- 第2570地区副幹事 行田さくらロータリークラブ 五十幡 和彦 様
- 第2570地区副幹事 吹上ロータリークラブ 山崎 研 様
- ロータリー財団国際親善奨学生 工藤 聖彦 様



入会3年未満の会員と共に

会長の時間

吉永章子会長

本日は鈴木ガバナーようこそ入間にお越し頂きありがとうございます。又、平岡ガバナー補佐、先週に引き続き今日も宜しくお願い致します。

皆様におかれましては例会後、クラブ協議会に移ります。そして終了後は懇親会に入ります。長丁場となりますが宜しくお願い致します。

さて、ガバナー公式訪問について少し触れさせていただきます。この訪問は監査や査閲ではありません。R Iの役員でいらっしゃる国際ロータリー第2570地区の鈴木ガバナーと入間ロータリークラブが一年に一回、接触できる今日の大変な機会を今日有意義に過ごしたいと思っております。

ロータリーは私達を取り巻く時代の変化を背景に、又、何回もの規定審議会を経て変えてはならないものは残し、変えるべきものは少しずつ変化してきています。R Iの出来事は5大奉仕部門新世代の誕生、ロータリー財団の「未来の夢計画」、ポリオの撲滅に向けて等。又、会員資格の変更、出席資格の緩和、クラブリーダーシッププランの採用等多くあります。又、入間クラブでは50周年記念式典、R I意義ある業績賞の受賞、石川ガバナー・平岡ガバナー補佐輩出、国際ロータリー第3690地区金浦RCと有効クラブ締結とマッチング・グラント、ロータリー100周年記念「入間基地ランウェイウォーク」等、歴史の足跡は多く残されています。双方重ね合わせても年代別のR I会長の「テーマ」を受けての地区ガバナー、クラブ会長の熱き思いが伝わって来ます。

今年度は30年ぶりの日本人R I会長田中作次氏です。後程ガバナーよりR I会長の方針及び地区ガバナーとしての重要課題等をお聞かせ頂き又、入間クラブの活動方針を私を始めとした5大奉仕部門の各委員長よりお伝えして、ご意見、ご指導を賜りたいと存じます。

今日が実り多き一日であります様願いつつ会長の時間に変えさせていただきます

委員長報告

社会奉仕委員会

粕谷康彦委員長

9/1 第1回社会奉仕部門セミナーに参加してまいりました。打ち水作戦の実行報告と来年3月に各クラブに五本枝垂れ桜を進呈予定になっており、植える場所を考えて置いてとの事でした。アイバンクの登録・埼玉古墳の世界遺産登録・ご子息のブライダルへの登録・希望の風奨学金に皆様のご協力お願い致します。

<出席報告>

新井格出席委員長

会員数	出席数	出席率	前回修正率
40名	36名	92.3%	75.0%

事前欠席連絡 3名

<ニコニコBOX>

細淵克則SAA

吉永章子君～鈴木ガバナー・平岡ガバナー補佐ようこそ入間へ、本日は宜しくお願い致します。石川嘉彦君～鈴木ガバナー入間クラブへようこそ米山記念奨学会の評議会の為欠席で失礼致します。杉山定太郎君～鈴木ガバナーようこそ。齋藤栄作君～鈴木ガバナー・副幹事五十幡様・山崎様ようこそ入間クラブへ。

本日¥4,000 絆BOXSより ¥135,683 累計¥250,683

ガバナー公式訪問卓話

国際ロータリー第2570地区ガバナー

吹上ロータリークラブ 鈴木 秀憲 様



皆様こんにちは。本日は公式訪問と言う事でご歓迎頂き、厚く御礼申し上げます。

又、昨年度はガバナーエレクトとして大変お世話になりました。私の所属している吹上RCは少人数クラブですが、平成の大合併で吹上町は鴻巣市となりました。行田RC・行田さくらRCからの全面支援をいただいております。

本年1月アメリカ・サンディエゴで研修を1週間受けて参りました。田中作次RI会長は「Peace Through Service=奉仕を通じて平和を」の意味を英語で発表なされて、我々は同時通訳で拝聴しました。

◎ RI会長の話を受けて地区では「奉仕の追求」を重要課題に掲げました。

「組織」は事業を行う為のものであり、事業を円滑に行う為に「組織運営」が必要で、これがクラブ奉仕と考えます。職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕がロータリーの基本と考えます。

①「**職業奉仕**」は自分と職業の確立として自らが行うことであり、具体的には**自身を磨き**、自らの職業を磨く事です。常にお客様や世間の事を大切に考える観点から、製造業は製品を、商業は商品を、サービス業はサービス内容をレベルアップする事が大切です。その結果お客様は満足され、お店は繁盛し、利益も付いて来ます。

「**職業奉仕**」については、自分の拙い例ですが、路線バが廃止された後の事業として当社が、マンションの送迎バス事業で団地の管理組合との契約に漕ぎつけ、国土交通省の認可を取るのに成功しました。

又、従業員の勤務状況の把握にパソコンを導入してアルコール検知器、免許証で本人確認など一般客が望んでいるニーズにいかに対応するかに配慮しました。

②「**社会奉仕**」は 各々が職業奉仕を実践した上で、主としてクラブの活動により広い意味での地域の活性化を図ることと考えます。

③「**国際奉仕**」は **広い意味での「世界の平和」**と言う事が出来るでしょう。平和とは、戦争や紛争等の解決だけでなく、健康・教育・友愛・地域の発展等も含まれます。

④「**新世代**」は上記社会奉仕・国際奉仕の事業の中で特に次世代の方へ焦点を当てて行う事業と考えます。

◎ RIの本年度の3カ年の長期計画重点項目としては以下の2つが重要です。

①「**会員増強**」は、世間一般から尊敬され、憧れの的になるようなロータリアンを目指すことが会員増強に一番と考えます。まずは会員個々が、自分と自分の職業を磨く事。その結果、世間から尊敬され、お店も繁盛するように、会員個々の資質を高めることが大切です。

②「**公共イメージと認知度の向上**」については、先に

メディアの活用が有るのではなく、我々が、世間から理解されるロータリアンとして世間一般に向けられた有用な事業を行う事が大切です。

◎「社会奉仕」は、クラブ主導で地域活性化の為に役立つものを実施すべきです。

地域で必要とされている事は、社会の変化と共に常に変わります。年度毎に、その事業の必要性や成果について見直す「この地域に必要な事は何か？」と言う事を考える事が大切であると思います。長期間にわたって支援を必要とする案件がある場合には、行政等への提言も必要です。陽の当たらない事業等を新たに支援する事も検討するべきです。

◎地区では広域に亘って必要とされる地区事業として、特にさきたま古墳群の「目指せ世界遺産事業」は、単に世界遺産を狙うと云う事だけでなく、埼玉県名発祥の地のある古墳群を県民皆でアピールする事に意義が有ると考えます。

◎「ロータリーの綱領」

我々ロータリアンの行動の原点となるこの綱領は「ロータリーの目的」と読替えて下さい。それは、奉仕の理想を広め、育成する事です。特に次の4項目を広め、育成する事です。

イ. 奉仕の機会を通じて知り合いを広める。

ロ. 事業・専門職の道徳的水準を高める。

ハ. 個人・事業・社会生活に奉仕の理想を適用。

ニ. 国際間の理解と親善と平和を推進。

今後も鋭意努力して参ります。皆様の声にもよく耳を傾けたいと考えております。引き続いての御支援を宜しくお願い申し上げます。

【鈴木ガバナーからの御礼のお言葉】

公式訪問ではご歓待下さり、大変感激致しました。事前の打合せ等に、多大なるご尽力をされた事と存じ、心より厚く御礼申し上げます。会長・幹事との懇談の中で、貴クラブのまじめさと丁寧なクラブ運営を伺えました。3年未満会員の方たちからは、入会している事への誇りを感じ、また齋藤栄作幹事の熱心な会員増強の姿を知る事が出来ました。

金作氏の「入間路に朝が来る」を聞かせて頂いた事、ロータリー美術館では、皆様が作品について詳しく説明下さり、素晴らしい経験をさせて頂き感激しました。会長初め、会員全員の品格と熱意と力強さを感じました。クラブ協議会全体を通して、貴クラブ会員が問題点について正面から取り組んでおられる事を感じとりました。懇談会では、地区に対するご意見を有難うございました。皆さまのお気持ちを、しっかりと受け止めさせて頂きます。貴クラブが、会長様、幹事様の下で、更なるご発展されます事を願い、御礼のご挨拶とさせていただきます。齋藤金作先輩には最後までご出席頂き感謝申し上げます。又50年間皆出席されておられる事に驚き、心より敬意を表します。



第3回クラブ協議会

クラブ奉仕委員会

加藤国夫委員長

当委員会は大変重要であると同時に責任を感じております。出席委員会・プログラム委員会・親睦委員会・会員増強委員会。これらの委員会はそれぞれ関連性を持っていて、会員家族を巻き込んだ計画を立案していけば何れ会員増強にも繋がると信じております。

職業分類委員会

水村雅啓委員長

今後の会員増強を目指すべく新分類表を活用し、会員選考・ロータリー情報等と連携をとり、バランスの取れた会員構成に努めて参ります。

会員選考委員会

森田英郎委員長

今年度は木下会員の選考に当たりました。これからも会員増強に会員皆様と協力してクラブ発展に努力して参ります。

会員増強委員会

宮崎正文委員長

全会員と協力し入会促進・退会防止に努め純増2名を目指し、早速8月の第一例会ではグループ毎に増強活動計画に取り組んでおります。

ロータリー情報委員会

細淵克則委員長

8/2に第1回ロータリー塾を開催し、テーマは「何故RLIなのか」でした。研修会は年4回行い、会員の資質向上と3年未満の会員への基本情報研修・入間RC未来計画を検討していきます。

出席委員会

新井格委員長

出席規定の周知に努め、他クラブへの合同メイクアップなどの支援を進め、会員相互の親睦が深められる様積極的に取り組んでまいります。

会報委員会

宅見允委員長

情報内容をコンパクトに楽しく読みやすく入間クラブらしいユニークさを出し、又インターネットで皆が閲覧できる状況から卓話内容等には十分配慮するよう努めます。会報の背景写真は、四季折々の季節感が出せるよう工夫し、齋藤金作会員による中国古典コラムには人生訓となる様な名言を掲載し、解り易く解説して頂いております。

親睦活動委員会

晝間和弘委員長

9名の親睦委員在任の委員長だと私は思っております。各行事の前に家庭集会を開き、先輩委員からの意見と伝統を学びながら行なって参りますので、皆様のご協力宜しくお願い致します。

雑誌委員会

関根靖郎委員長

「ロータリーの友」記事紹介、又、最近当クラブからは出していない投稿、地域への配布依頼に努力して参りますので協力お願い致します。

プログラム委員会

繁田光委員長

出席して良かった、楽しかった、有意義だったと感じて貰えるプログラムになる様に努力して参ります。

広報委員会

諸井克彦委員長

地域の方々にロータリーの存在を知って貰える様に努力していきます。

ロータリー美術館

山根宏夫委員長

ロータリーの親睦を兼ね又、安らぎの機会にもなる当クラブ独特の美術館は会員の協力により、ずっと継続して行きたいと思っております。

職業奉仕委員会

吉沢誠十委員長

今日はガバナーの卓話をお聞きし、自分と自分の職業を常に磨き、心新たに頑張ってお参ります。

健康管理委員会

上野弘勝委員長

10月の卓話をお願いしました防衛医大教授のお名前は「小須田茂先生」に訂正させていただきます。活動計画としては健康維持管理に関する情報を提供いたします。

社会奉仕委員会

粕谷康彦委員長

活動方針・活動計画に沿って奉仕・実行して参ります。ブライダルの2570地区委員長に11月卓話をお願いしております。又、「ロータリーの希望の風」がロータリーの友8月号に載っておりますので皆様良くご覧になって下さい。

地域発展委員会

大野賢次委員長

住みよい環境・人工が増える町・子供が安心して住める町を目指し一年間活動して参ります。

環境保全委員会

大塚拓委員長

昨年は地域発展を遣らせて頂き、悩んで大野委員長にバトンタッチいたしました。今年は社会奉仕、地域発展と連携しながら頑張ってお参ります。

国際奉仕委員会

忽滑谷明委員長

幸い地区の国際奉仕部門アドバイザーが石川パストガバナーですのでご相談しながら活動していきます。9/29にはセミナーがありますので勉強し、又今週の土日は米山の奨学生を連れて研修旅行に行ってお参ります。

世界社会奉仕委員会

関谷永久委員長

当地区の活動方針に沿って小さい事で少しずつ活動を続けていく事が大事と考えています。

ロータリー財団委員会

滝沢文夫委員長

今週土曜日に財団のセミナーがありますので出席して「未来の夢計画」を頭に叩き込み、噛み砕いて会員の皆様にお話出来ればと思っております。

米山記念奨学委員会

豊田義継委員長

鈴木ガバナーのメッセージの中に、米山記念奨学会の方向性が変わってきていると明記されております。奨学会のあり方について意義・実績・効果をもう一度勉強したいと思っております。

新世代奉仕部門委員会

西山祐三委員長

新世代の常設プログラムには、インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)、ロータリー青少年交換がありますが、その中で重要なものの1つのロータリー青少年交換プログラムにおいて2010～2011年度に板木麻耶さんがベルギーへ、ベルギーからピロンチャーリー君が来日されました。しかし今年度は該当者なしですので、活動計画に唱っております様にRYLAには参加したいと思います。

～～～鈴木ガバナーより、それぞれの委員会に対して総評・講評を頂きました～～～

ロータリー美術館



ガバナーの公式訪問を歓迎して、恒例の「ロータリー美術館」を開催いたしました。鈴木ガバナーは出品者の説明を熱心に聞かれながら、美術館を楽しんで頂きました。



会報委員会 (宅見・石川嘉・関谷)